

－ MedPeer会員医師へのアンケート調査 －

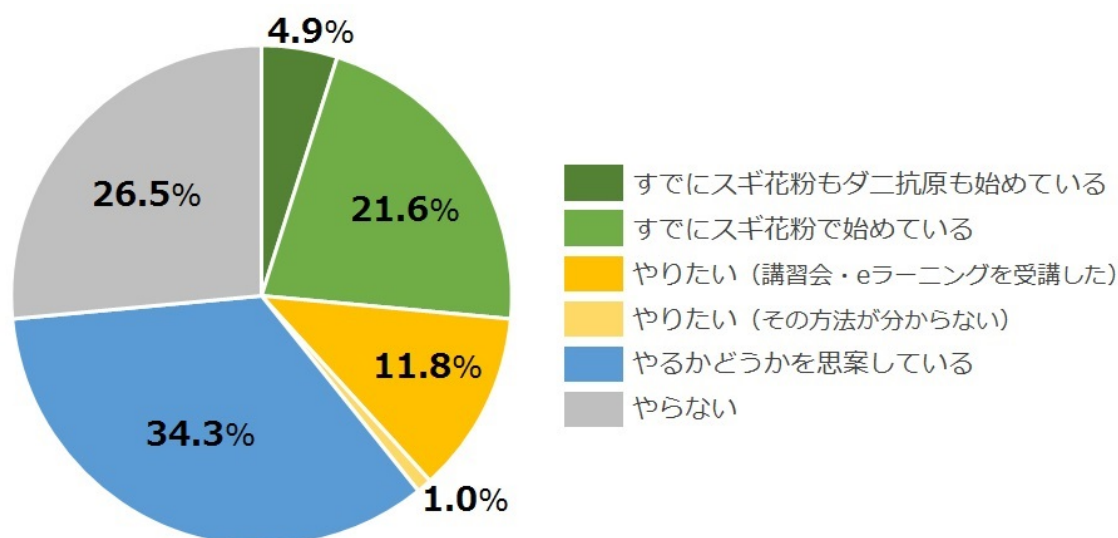
花粉症の最新治療「舌下型免疫治療」の施行について、 耳鼻科医の34%が「やるかどうか思案中」で最多

医師10万人以上（国内医師の3人に1人）が参加する医師専用コミュニティサイト「MedPeer（メドピア）」（<https://medpeer.jp>）を運営するメドピア株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長：石見 陽）は、会員医師を対象に、「舌下型免疫治療*について」のアンケートを実施いたしました。以下、結果をご報告します。

*「舌下免疫治療」は、アレルギーの原因物質（アレルゲン）を少量ずつ体内に投与することで、アレルギー反応を弱めていく「アレルゲン免疫療法（減感作療法）」の内、舌の下に薬を滴下する治療法です。スギ花粉症では2014年10月より、ダニ抗原によるアレルギー性鼻炎では2015年11月より、この舌下型免疫療法薬が発売されています。処方するために、医師はあらかじめ指定の講習会やeラーニングを受講する必要があります。

■調査結果：花粉症などのアレルギー疾患に対する「舌下型免疫治療」の施行について

（対象者：耳鼻咽喉科の医師102人**、調査期間：2015/1/18～2015/1/24）



| 回答 | 回答数 (人) | 占有率 |
|-----------------------|---------|--------|
| すでにスギ花粉もダニ抗原も始めている | 5 | 4.9% |
| すでにスギ花粉で始めている | 22 | 21.6% |
| やりたい（講習会・eラーニングを受講した） | 12 | 11.8% |
| やりたい（その方法が分からない） | 1 | 1.0% |
| やるかどうかを思案している | 35 | 34.3% |
| やらない | 27 | 26.5% |
| 合計 | 102 | 100.0% |

**全回答者（2,576人）の内、耳鼻咽喉科を標榜する医師105人から、「診療する機会がない」と回答した医師3人を除いた計102人を対象として集計しています。

■ サマリー

- 「舌下型免疫治療」の施行について、耳鼻咽喉科の医師102人が回答をした。結果、**最も多かったのは「やるかどうかを思案している」で34.3%**であった。治療薬の発売から間もないため、もう少し様子を見て「効果や安全性を確認してから」という声や、導入における「手続きの煩雑さ」を懸念しているケースが多かった。
- 「**すでに始めている」と回答した医師は26.5%**だった。「患者の希望で、まずスギ花粉から始めている」という声が多かった。
- 「**やりたい」と回答した医師は12.8%**であり、そのほとんどが講習会やeラーニングは受講済みであった。価値は感じているものの、患者のニーズや適正が懸念点になっているようだった。
- 「**やらない」と回答した医師は26.5%**だった。主な理由は、「治療期間の長さ」や「副作用などのリスク」であった。

■ 回答コメント（一部を抜粋）

「すでに始めている」 27件

- ・ スギに関しては安全性が高いと考えて、開始しました。（50代、勤務医）
- ・ 患者さんの希望で始めている。（50代、開業医）
- ・ 例数は少ないが、始めてます。ダニは、副作用が出るらしく考慮中です。（50代、開業医）
- ・ 効果が出ている患者さんも増えています。（50代、勤務医）
- ・ 症状の度合いにより考えます。必ず毎年あって、症状がひどくなるようなら、免疫療法勧めます。（50代、勤務医）

「やりたい」 13件

- ・ 唯一の根治療法ですので。ただし患者を慎重に選ぶ必要はあります。（50代、勤務医）
- ・ 若年者はやる価値があると思います。（40代、勤務医）
- ・ いつでもできますが、効果など見極めてからにしたいです。（40代、開業医）
- ・ やりたいですが、なかなか投与期間も長いので、適した患者がいません。（30代、勤務医）

「やるかどうかを思案している」 35件

- ・ 発売後日も浅いので、もう少し経過を見てからと考えています。（70代、勤務医）
- ・ 安全性や有効性を確認してからです。（40代、勤務医）
- ・ 講習会も受講済みですが、あまり積極的にやりたいとは思っていません。中途脱落が非常に多いみたいですし、効果が出るまで2年という、対象になる人は少ないのではないのでしょうか？（50代、開業医）
- ・ すでに資格があります。すぐにでもできます、しかしいったんアナフィラキシーショックが起こったときの対応をしない今はできないでしょう。（50代、開業医）
- ・ 講習は受けているが、地域からニーズが上がってこない。（30代、勤務医）
- ・ 手間がかかる割には診療報酬が少ない。（40代、勤務医）

「やらない」 27件

- ・ 長期間に及ぶ治療が継続できるか疑問。（30代、勤務医）
- ・ 時間がかかる、効果が確実ではない、アナフィラキシーなどのリスクがある。（30代、勤務医）
- ・ 十分に対応できないと、モンスター患者が怖い。（50代、勤務医）
- ・ 自分がスギ花粉症でとても困っているなら、後鼻神経切断術を受けます。（40代、勤務医）
- ・ 緊急時対応が困難です。（50代、開業医）
- ・ 需要が増えれば考え直すと思いますが。（30代、勤務医）

■記事引用時のお願い

- ・ 医師専用コミュニティサイト「MedPeer」調べ、と明記ください。
- ・ WEB上での引用に際しましては、「MedPeer」に<https://medpeer.jp>へのリンク付与をお願い致します。

■参考

昨年2015年2月に行った、「医師が自身で行っている“花粉症対策”」についての調査結果は以下をご覧ください。

◇医師が自身で行っている“花粉症対策”について

治療の開始時期は「2月」、最重要視する花粉除去対策は「マスク」、治療法は「薬物療法（ケミカルメディエーター受容体拮抗薬）」が1位に。

https://medpeer.co.jp/press/_cms_dir/wp-content/uploads/2015/02/Posting_201502232.pdf

メドピア株式会社について

社名：メドピア株式会社(<https://medpeer.co.jp>)

代表者：代表取締役社長 石見 陽 (医師・医学博士)

設立：2004年12月

運営サービス：医師専用サイト「MedPeer(メドピア)」
(<https://medpeer.jp>)

メドピア株式会社は、「Supporting Doctors, Helping Patients.」を理念として、現在10万人以上の医師（国内医師の3人に1人）が参加する医師専用サイト「MedPeer」を運営しています。医師同士が臨床現場で得た知見を「集合知」として共有する場を提供することで、医師の診療を支援するとともに、MedPeerの医師会員および集合知を源泉として、製薬企業をはじめとした企業に対して医師向けのマーケティング支援サービスを提供しています。

【お問い合わせ先】メドピア株式会社・広報担当 藤野 | 電話：03-6447-7961 | メール：pr@medpeer.co.jp